

骨髓バンク・さい帯血バンクを
身近なものに

造血幹細胞事業広報誌 バンク バンク

B A N K !
B A N K !

みんなでつなぐいのちのボタン

VOL.
12
2018

TOPICS

骨髓バンクのナンバース
骨髓バンク「はじめの一步」

クイズの答えを考えよう!

BANK DE QUIZ

BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さまへメッセージ
つながるメッセージ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

骨髄バンク「はじめての一步」

骨髄って何?

骨の中にある軟らかな組織で、ここで血液をつくる細胞(＝造血幹細胞)が働いています。人の血液は骨髄でつくられ、血管に流れ出て全身を巡ります。

骨髄バンクドナーって何をするの?

骨髄バンクドナーは、患者さんに健康な造血幹細胞を提供する人です。腰の骨から採る骨髄提供と、薬を注射して造血幹細胞を血液中に流れ出させ、腕の血管から採る末梢血幹細胞提供があります。

ドナーになるには何が必要?

骨髄バンクドナー登録が必要です。全国の献血ルームや登録会、保健所(一部を除く)で登録できます。登録者の中から、移植を必要とする患者さんとHLA(白血球の型)が合う候補者が選ばれます。

ドナー登録の流れ

骨髄・末梢血幹細胞の提供に関して理解したうえで、献血ルームなどに申込書を提出し、HLAを調べるための血液を採取。登録すると「ドナーカード」がもらえます。



※1 保健所などの登録窓口や、ドナー登録会でも申込・採血できます。 ※2 登録窓口までの交通費は自己負担となります。

ドナー登録の条件

- ・満18歳から54歳まで
- ・過去に輸血を受けたことがない
- ・健康な男女
- ・体重が男性45キロ以上、女性40キロ以上

※既往歴によっては登録できない場合があります。

MESSAGE



国立がん研究センター
中央病院
造血幹細胞移植科長
福田 隆浩 先生

骨髄バンクのドナーとして、骨髄・末梢血幹細胞を提供できる可能性がある人は36万人を超え、多くの患者さんが移植を受けるチャンスを得て命をつなぐことができたまでになりました。しかし骨髄バンクのドナー登録者の多くが40歳以上の今、10年、15年後には多くのドナーが引退してしまい、そのチャンスを得ることができなくなる可能性があります。このBANK!BANK!を読んで、その現状を知った方が、ドナー登録者になったり、家族・友人・同僚がドナーとして患者さんを助けたいと手を挙げたときに周りで支えてくれる一人になっていただければと思います。

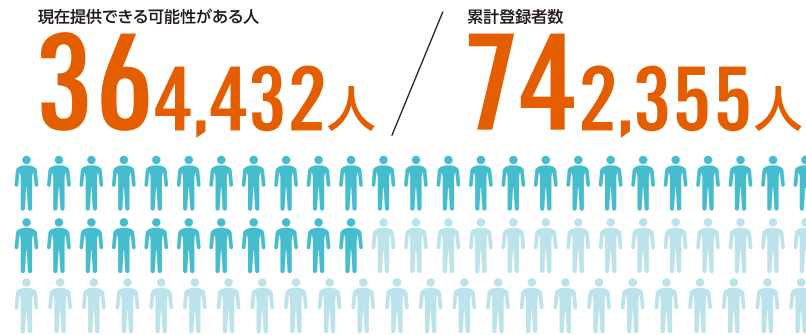
骨髄バンクのナンプズ

これまで多くの患者さんにいのちのバトンを届けてきた骨髄バンク。移植状況やドナー登録者などの数字を通して骨髄バンクを見ると、今までと違ったものが見えてきませんか？

骨髄バンクのドナー登録者のうち 骨髄・末梢血幹細胞*を提供できる可能性がある人

※以下「骨髄」

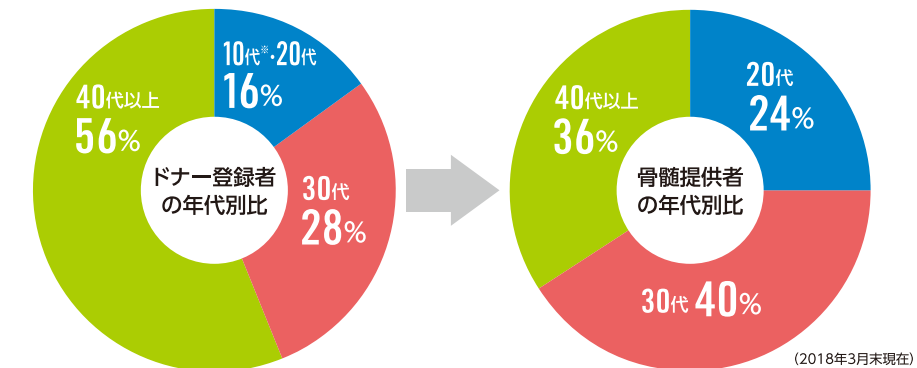
骨髄バンクにこれまで登録してくれた人は約74万人。でも実際にドナーとして骨髄を提供できる可能性がある人は、**現在約36万人しかいません。**（2018年7月末現在）



出典:造血幹細胞移植情報サービス
日本赤十字社

骨髄バンクのドナー登録者と骨髄提供者の年代別比

骨髄バンクにドナー登録している人は40代以上が多いですが、実際に患者さんに骨髄を提供した人は**30代が最も多くなっています。**



出典:造血幹細胞移植情報サービス 日本赤十字社
MONTHLY JMDP (公財)日本骨髄バンク

骨髄提供可能回数

2回 (1人あたり)

過去に1度提供したので、
私が提供できるのは
あと1回です

骨髄バンクでドナーとして患者
さんに骨髄を提供できるのは
1人2回まで。

出典:ドナーのためのハンドブック
(公財)日本骨髄バンク

ドナー引退者数 (2017年度)

21,408人

私は55歳なので引退です

2017年度に骨髄バンクのド
ナーを引退した人は約2万人。
**年齢制限等があるため、毎年
1人でも多くの人に登録を
お願いしています。**

出典:造血幹細胞移植情報サービス
日本赤十字社

骨髄バンクからドナーに選ばれたと連絡が来た人の割合

39.9% これまでに登録された約74万人の中で骨髄バンクから「選ばれました」と連絡が来た人は、全体の39.9%。そのうち、実際に患者さんに骨髄を提供した人は、**7.5%の約2万人です。実は提供できなかった人の方が多いんです。**



出典:MONTHLY JMDP
(公財)日本骨髄バンク

ドナーに選ばれたと連絡が来た人が 骨髄を提供できなかった理由

アンケート調査では、連絡が来た人のうち、69%の人が右の理由で提供できませんでした。

骨髄バンクから「ドナーに選ばれた」と連絡が来た人のうち、骨髄を提供できなかった人に対するアンケート調査（2017年4月～5月、回答数315人）



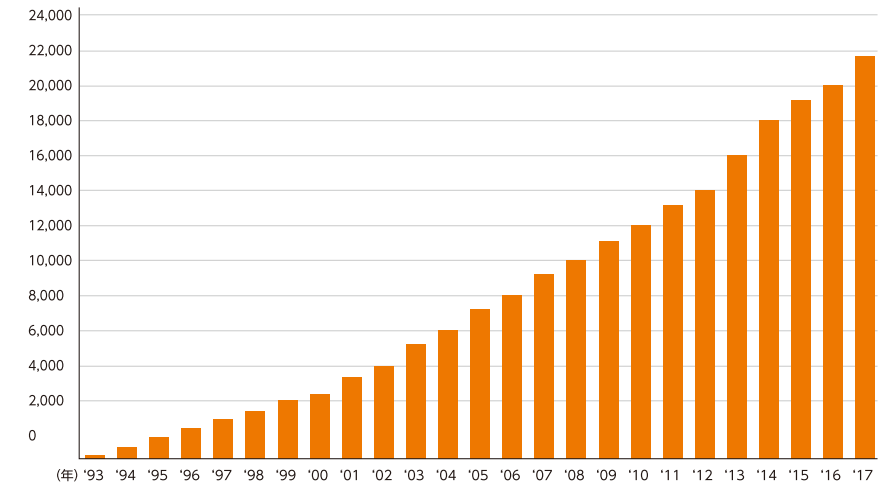
出典:平成28年度厚生労働科学研究費補助金「骨髄バンクコーディネート期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」

累計移植件数

21,488件

患者さんに骨髄を移植した件数は、2009年頃から年間1,200件を超え、2017年12月末までに21,488件。1993年に骨髄バンクによる初の骨髄移植が行われてから、医療の進歩とともに助かる命が増えています。

骨髄移植実施数の推移



出典:骨髄バンクデータ集
(公財)日本骨髄バンク



骨髄を提供した後は、いつから献血できる？

①3ヶ月後 ②6ヶ月後 ③1年後

ドナーとして骨髄を提供してくれる人は、「人の役に立ちたい」という気持ちから献血にも積極的な人が多いようです。ただ、骨髄提供後は体の回復にかかる期間や影響を考え、6ヶ月間は献血できません。退院後の検査で異常のないことが確認され、提供から6ヶ月経ちましたらご協力をお願いします。

正解:②6ヶ月後



まとめ

ドナー登録をしても患者さんに骨髄を提供するまでにはいくつも段階があり、実際に提供に至る人はごく一部なんです。骨髄を提供できなかった理由の中には仕事や家庭の都合など、自分ではどうにもならない理由も多くあります。**骨髄を提供するためには、周りの人の理解と協力がとても大切なのです。**

※もっと詳しく知りたい人は、右のQRコードから骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイトへ➡



つながよう「ありがとう」

骨髄ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科施設はポータルサイトでチェック！
QRコードからアクセスできます。

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト

bmdc 検索 www.bmdc.jrc.or.jp/



「パンフレット図書」から
バックナンバーも
閲覧できます



造血幹細胞
移植情報サービス



想いを言葉に添えて

ポータルサイトにある「つながるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じたことなど、ご意見を募集しています。

Facebook・Instagram

bankbank.jrc



つながるメッセージ

BANK!BANK! 広報スタッフから、読者の皆さまへメッセージ!



日本赤十字社
東北ブロック血液センター
事業部 献血管理課
今野 未来 さん

Q.普段どのようなお仕事をされていますか?

特別な血液が必要になった際に、東北6県の血液センターや関係部門との連絡調整業務を行っています。また、骨髄ドナー登録事業として骨髄バンクに登録された方の個人情報管理も行っています。多くの方が骨髄バンクについて理解し、ドナー登録をしてくださっていることを日々実感しながら業務に取り組んでいます。

Q.お仕事の中で印象に残ったエピソードを教えてください

患者さんの容態によっては、今日献血に来ていただきたいという状況も少なくありません。このような急に血液が必要な場合でも、たくさんの方々の献血へのご理解とご協力により、輸血を必要としている患者さんの元へ血液をお届けできているということを、この仕事を通して改めて知りました。献血者の皆様の思いを無駄にすることのないよう、今後も業務に励んでいきます。

Q.読者へのメッセージをお願いします

日常生活の中で、骨髄バンクやさい帯血バンクについて知る機会はありません。そんな方々に「これはなんだろう?知りたい!」と思ってもらえるよう、「BANK!BANK!」は表紙から裏面まで細かいところにもこだわって制作しています。「移植を待つ患者さんの思い」と読者の皆様をつなぐ広報誌でありたいと思っていますので、ぜひ手にとっていただけたら嬉しいです。

日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄ドナー」をインターネットでいつでも探すことができるように、「さい帯血」や「骨髄ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

骨髄バンクへの関わり

全国の献血会場で骨髄ドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動を行っています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つの公的さい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動を行っています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まったメンバーが制作に参加し、毎号異なるテーマをわかりやすく解説。骨髄・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けたいことを目指して活動しています。

今回の
BANK!
BANK!

造血幹細胞移植っていつから始まったの?
1月発行予定の次号は、昭和から平成の
造血幹細胞移植を振り返ります!



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞管理課

〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-1 ☎03-3437-7205

[平成30年10月発行]